

対象  
中学生  
以上のすべての人

第10回サイエンスカフェ@苫小牧

# 野生の動物をしらべる理由

## ヒトとは何なのか？を知りたかった！

大学から北海道に来て、初めて体験した雪に閉ざされた冬。  
ふと考えた、  
「何で人間は冬眠できないんだろう？冬眠できたら楽なのに。」  
有機化学から急遽進路を変えて『生態学』の扉を開けた。  
そこに待っていたのは待ち望んでいた答え。  
他の生き物と照らし合わせて初めて分かる  
ヒトの本質、そして特殊性。

今回のサイエンスカフェでは身近な野生動物の生き方を通して  
ヒトとは何なのか？  
というのを少しでも理解してもらえると嬉しいです。



日 時：2017年 3月 25日(土) 13:00 - 15:00  
講 師：小泉逸郎(北海道大学 大学院地球環境科学研究院 准教授)  
場 所：苫小牧市美術博物館(北海道苫小牧市末広町 3-9-7)  
お問合せ：0144-35-2550

# ヒトとは何なのか？

マイナス 10℃にもなる北海道の山の中で  
多い時には1年の半分以上、動物たちを追いかけます。  
そこでは自然の力強さに圧倒され、命の尊さを感じ、  
生物の巧妙な適応戦略に驚かされます。

一瞬の油断で命を奪われる野生生物と比べたら、  
自分達はなんて恵まれた環境で生活をしているんだろう、と思います。  
しかし、ヒトも昔はれっきとした野生動物。  
彼らと同じような生活を営んできました。  
熾烈な生存競争の中で『進化』を遂げてきた生き物です。  
そんなヒトの本質を知るには、野生に生きる生物の本質を知るのが  
私の中では一番しっくりきました。

今回のサイエンスカフェでは身近な野生動物の面白い生態を  
幾つかピックアップしてお話します。  
半分ほどは苫小牧近辺で行った研究です。

- オスとメスの恋の駆け引き？一夫一妻のシジュウカラと乱婚性のヤツメウナギ
- 自動撮影カメラで明らかになった支笏湖近辺のヒグマやエゾシカの活動性
- 地元に留まるか、冒険するか？サクラマスやオショロコマの生活史戦略
- 都会派エゾリス、大胆で強気？！

こいずみ いつろう

**小泉 逸郎** 北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授

岡山県玉野市生まれ。幼少期はクワガタ、カマキリ、カエルなどと戯れる。  
小学校4年生で釣りを始める。サケ科魚類に憧れ、北大を志願する。  
京都での予備校生活を経て北大理学部へ。学部時代は高分子化学の  
研究をしていたが、魚の研究がしたくて大学院から農学研究科へ方向転換。  
以降、約20年間にわたり北海道の魚類、哺乳類、鳥類の生態を研究。

